

会 議 録

1. 会議名	旧川西高等学校校舎等解体及び跡地整備工事請負契約の変更について
2. 開催日	令和8年2月5日（木）
3. 出席者	市長、副市長、小西市長公室長、阪上企画財政部長、田家総務部長 的場企画財政部副部長、森田総務部副部長 担当部：小林都市政策部長、小野都市政策部副部長、松下施設マネジメント課長 中野施設マネジメント担当課長 岡本市民環境部長、人見市民環境部副部長、臼杵文化観光スポーツ課長

4. 会議の目的	請負契約変更を議会へ説明するため、提出資料の内容を協議
5. 補足説明（現状、課題など）	旧川西高校校舎等の解体において、アスベストの除去や地中障害物の撤去などが追加で発生したことに伴い契約金額を増額変更（52,844千円）する。なお、工期変更は行わない。
6. 担当部の方向性	変更内容及び金額について事業者と協議を行い仮契約を締結し、資料に基づき議会に説明する。また、工事を一部止めているため、今後の工事スケジュールに影響が出ないように、2月25日に議会の議決を得られるよう進める予定である。
7. 質疑・意見等	質問：兵庫県との土地建物の売買契約を締結した際、土地価格については、地中障害物などの不確定要素を考慮した撤去処分費がすでに差し引かれている、という理解でよいか。 回答：お見込みのとおり。土地価格からは地中障害物などの不確定要素を考慮した相当額が控除されている。なお、売買契約時に県が算定した解体費用と今回の工事で発生した費用には乖離があるが、これは売買時から年数が経過していることや、現在の物価高騰が影響しているものと考えられる。 質問：ラップルコンクリートは、建築工事において一般的に用いられる工法か。 回答：ラップルコンクリートは、特に表層が軟弱地盤である場合に、基礎の支持力や安定性を高める目的で用いられる工法である。
8. 結論	会議での意見を踏まえ、資料に基づいて市議会へ説明する。